

笑顔のために



富士宮市議会 6月定例会
年5回発行

令和元年 9月1日発行

議会だより

No.414



空調設備機器稼働式の様子（貴船小学校）

目次

- 6月定例会の議決結果 2
- 【特集】小・中学校のエアコン工事完了予定日 ... 3
- 常任委員会の活動報告 4、5
- 一般質問（17人） 5～13
- 今後の定例会開催予定/編集後記/
議員表彰/議会をネットで見よう 14

エアコン設置工事の様子
（大宮小学校の足場組み）

6月定例会 議案審議

6月24日開会～7月11日閉会
以下の議案を議決しました

議案番号	件名	議決結果
報 第 12 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分について	報告済
報 第 13 号	平成 30 年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	//
報 第 14 号	平成 30 年度富士宮市一般会計事故繰越し繰越計算書について	//
報 第 15 号	平成 30 年度富士宮市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	//
報 第 16 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
議 第 32 号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	全会一致 原案可決
議 第 33 号	富士宮市立病院使用料及び手数料条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 34 号	富士宮市税条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 35 号	富士宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 36 号	富士宮市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 37 号	富士宮市森林環境基金条例制定について	//
議 第 38 号	富士宮市立富士宮第一中学校他 3 校空調設備整備工事請負契約の締結について	//
議 第 39 号	富士宮市立富士根南中学校他 2 校空調設備整備工事請負契約の締結について	//
議 第 40 号	富士宮市立富丘小学校他 2 校空調設備整備工事請負契約の締結について	//
議 第 41 号	富士宮市立北山小学校他 3 校空調設備整備工事請負契約の締結について	//
議 第 42 号	富士宮市立富士根南小学校他 2 校空調設備整備工事請負契約の締結について	//
議 第 43 号	財産の取得について	//
議 第 44 号	損害賠償の額の決定について	//
議 第 45 号	市道路線の廃止について	//
議 第 46 号	市道路線の認定について	//
議 第 47 号	令和元年度富士宮市一般会計補正予算(第 1 号)	//
議 第 48 号	令和元年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	//
議 第 49 号	令和元年度富士宮市病院事業会計補正予算(第 1 号)	//
議 第 50 号	1 級市道半野狩宿線狩宿大橋補修工事請負契約の締結について	//
諮 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
諮 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
諮 第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
諮 第 5 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
選 第 22 号	農業委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	//
選 第 23 号	固定資産評価審査委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
選 第 24 号	固定資産評価審査委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
議選 第 9 号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決定
議請 第 1 号	ライドシェアの導入に反対し、タクシーをはじめとする安全・安心な公共交通の施策推進を求める意見書に関する請願	閉会中の 継続審査 決定

※報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人事案件のうち監査委員の選任、議選＝議会で行う選挙や人事案件、議請＝請願の略称。(2月定例会からの通し番号になります。)

※詳しくは、市議会事務局(電話 22 - 1191)までお問い合わせください。



大宮小理科室に設置されたエアコン

夏も冬も快適に!! エアコンいつできる?

予算総額：約33億円

★井之頭中
★井之頭小

令和2年 3/13

★人穴小

★西富士中

★白糸小 ★上井出小



★北山中

★上野中 ★北山中

★上野小

★山宮小

★袖野小

★袖野中

令和2年 3/13

栗倉分校★

富士根北小★

富士根北中★

★富士根南小

★富士根南中

令和2年 2/28



★稲子小

★芝富小

★芝川中

★内房小

★西小

令和元年 10/31

令和元年 8/30

令和2年 3/13

大富士中★

大富士小★

★富丘小

★富士見小★

★富士宮四中

令和2年 2/28

令和2年 3/13

★富士宮二中★

★貴船小★

★大宮小

★富士宮一中

★東小

★富士宮三中

★黒田小

令和元年 9/27

令和2年 3/13

令和元年 10/31



大宮小工事作業

常任委員会の審査

各常任委員会では、所管する部署の事務に関し政策立案等を行う「政策課題」の設定をしました。これから2年間かけて、設定した政策課題について重点的に掘り下げて議論します。

総務文教委員会

政策課題「富士宮市の公共交通の確保について」

【松永孝男委員長のコメント】

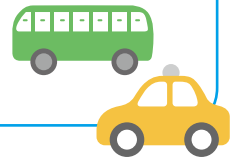
総務文教委員会では2年間の政策課題を決定するに当たり、各会派から検討したいテーマを募集しました。沢山の意見の中で3会派より富士宮市の公共交通について検討したいとの提案があり、「富士宮市の公共交通の確保について」を2年間の政策課題と決定しました。

高齢化と郊外地域の過疎化が進み既存のバス路線が減少していく中で、交通弱者の生活の足の確保と、高齢者の事故を減らすための免許証返納を進めていくために、現行の「宮バス・宮タク」の再検討、地域のボランティア団体等が行う「自家用有償旅客運送」、近年シェアリングエコノミーとして注目されつつある「ライドシェア^{*1}」についてなど、多方面から情報を収集し、富士宮市の事情にあった公共交通のあり方を調査検討していきます。

また、同時に出された「浅間大社を中心とした世界遺産のまちづくり」、「国民健康保険制度の展望」、「投票率の向上」、「委員会・審議会における女性のクォーター制度^{*2}」、「富士宮市人口ビジョンの達成」、「いじめや不登校など小・中学校の諸問題」などは2年間の中で所管事務調査として調査していきます。特に小・中学校の問題については9年制の義務教育学校も視野に入れて検討したいと考えています。

※1 自動車の運転者とそれに相乗りする人、または相乗りする人同士を引き合わせるサービス。

※2 政治における男女平等を実現するために、議員などの一定数を女性に割り当てる制度。



環境厚生委員会

政策課題「富士宮市が目指す地域循環共生圏^{*1}について」

【中村憲一委員長のコメント】

“8050問題”が社会的に耳目を集めたことを受け、当市における8050問題^{*2}の現状と対策を調査しました。40歳～64歳の“ひきこもり”は、全国に61万3000人存在すると推計されますが、当市の実数は分かっていません。当市では生活困窮者自立支援事業に基づき、“ひきこもり”状態にある方々を支援しています。また、背景には子ども期からの“ひきこもり”問題があると言われてるので、福祉部門と教育部門が連携して対応する必要があります。

児童虐待問題の現状と対策については、他自治体で関係機関の連携の不備により事態が深刻化した事案を受け、市の家庭児童相談室、県の児童相談所、その他関係機関との連携対応状況及び、虐待と疑われる通報から48時間以内に目視で安否確認する“48時間ルール”の励行状況を確認しました。

また政策課題については、“富士宮市が目指す地域循環共生圏について”とすることに決定しました。地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体に当市が選定されたことを受け、当局とともに環境整備に取り組むとともに伴走型の政策提言を行い、“地域循環共生圏づくりプラットフォーム”の構築を支援していきます。

※1 各地域が持つ地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、各地域の資源を補完し合い、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。

※2 長期化した引きこもりに関する社会問題。80代の親が50代の子どもの生活を支えることから8050問題と言われる。

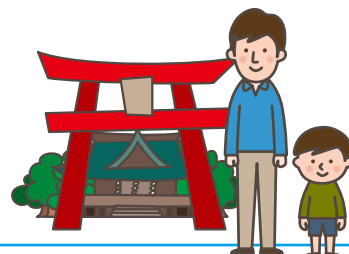


【植松健一委員長のコメント】

産業都市委員会において2年にわたり調査研究を行う政策課題は「滞在型観光について」と決定いたしました。

今回の決定にあたり各委員から意見を聴取し検討を行いました。当委員会が所管する政策の分野としては商工業・農林水産業・都市整備等であります。範囲が広く課題も多いため聴取した意見も多岐にわたり、改めて当委員会の使命というものを痛感しました。その中でこれからの富士宮市を考えた時、今このタイミングで検討しておくべきこととして、「滞在型観光」を題材とすることで全委員の合意のもと決定しました。

現在当市の観光の形態は多くの資源を持ちながらも通過型であり、これからインバウンドの増加などが期待される中、観光を一つの産業として発展させていくためには滞在型にしていく必要性を強く感じるところであります。それについては以前より観光業界も市民も共感しているところだと思いますが、なかなかその方向へ進んでいない現実があります。その現実をしっかりと捉え、なぜ進まないのか、進めるには何が必要なのかということを確認にし、将来に向かっての滞在型観光について提言することが出来ればと考えております。また、「滞在型観光」以外の課題についても所管事務調査を通して研究していきます。



一般質問



うえまつ けんいち
植松 健一 議員
(芙蓉)

プラスチックごみ問題について

問 プラスチックごみの処理の現状と今後の展開について伺う。

部長 ペットボトル、トレーは分別収集し民間事業者でリサイクル処理され、それ以外のプラスチック製品は清掃センターで可燃ごみとして焼却処理している。

問 代替素材やバイオプラスチックの普及を推進してはどうか。

部長 プラスチックごみ問題は世界的な対応が必要な喫緊の課題である。代替素材の普及推進等について国や県等と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えている。

市長 プラスチックごみの問題は重大な課題であり、市としても真剣に取り組んで行かなければならない。しっかり情報発信していきたい。

楽しく通える学校の実現について

問 不登校児童生徒への対応について伺う。

教育長 小・中学校での取り組みとして「リストアップシート」や「小中連携不登校対応個票」を活用して実態把握をしている。各学校での不登校生徒への訪問や電話連絡をし、教育委員会と各学校で情報共有が出来ている。

問 SNSが与える影響について対策を考えてはどうか。

教育長 背景にはスマートフォン等の所持率の上昇や所持の低年齢化がある。富士山まちづくり出前講座を利用し、市民に児童生徒の現状やその対策について考えてもらっている。全ての中学校でSNSに関する講座を予定している。

問 スクールソーシャルワーカー等の学校への専任配置が必要と考えるがいかがか。

教育長 予算面だけでなく人材面においても各学校への配置は難しい状況である。人材確保のための育成が急務であり、県教育委員会へ強く要望していく。



さいとう かずふみ
齋藤 和文 議員
(公明会)

児童生徒の負担軽減のための置き勉^{*}について

問 昨年文科省から出された通達後の対応は。

教育長 学校側は荷物の軽量化に向け、家庭学習で使用しない教科書等を学校で保管したり、日々の荷物が重くならないように時間割を工夫したり、多い荷物は分けて持ち帰っている。

問 2月に実態調査が行われ、結果として置き勉が行われ、負担は軽減されたのか。課題は。

教育長 小学校全てにおいて対策が取られ、軽量化が図られている。課題としては、大規模校において保管場所の確保が難しい。学校毎で状況は異なるが、教室内ロッカーの上や空き教室・特別教室などを工夫して対応している。

問 本年行われる教科書選定の中で、軽量化等の具体的な選定、継続的な取り組みは行われるのか。

教育長 現在来年度使用する教科書の選定を行っ

ている。従来の学習内容・学びやすさの他に、発達段階に合った大きさや重さ等の扱いやすさも選定の中に含まれている。今後校長研修会の中で、各学校の取り組みを共有対策する。

※置き勉とは、登下校時の荷物を軽くするために、家庭で使用しない教科書を学校に置いて帰ること。

園児の安全な散歩や児童生徒の通学路の安全確保、高齢者対策について

問 緊急点検は行ったのか。

教育長 昨年8月から9月に、教育委員会・学校・子ども・保護者・地域住民・警察などで実施。

部長 5月の大津市の事故の後、保育園散歩コースや職員の認識・事故防止マニュアルの再確認を緊急で行い、警察とともに協議を行った。

問 今年度公立保育園等に防犯カメラは設置されるが、公立小・中学校については。

部長 公立小学校については、令和2年度3年度で校内へ設置する予定。その後中学校についても順次設置予定。その他公共施設への防犯カメラ設置の検討要望が出されている。



なかむら けんいち
中村 憲一 議員
(令和)

ひとり親家庭への支援策としての養育費確保支援と弁護士資格を有する任期付職員について

問 ひとり親家庭の世帯数、相対的貧困率は。

部長 ひとり親世帯は991世帯で、母子世帯が863世帯で87.1%、父子世帯が128世帯で12.9%。本市単独の相対的貧困率は把握していない。

問 養育費の受給状況及び養育費確保に係る弁護士による法律相談の場の提供の必要性は。

部長 児童扶養手当受給者の内、養育費受領の割合は、母子家庭が26.6%、父子家庭が9.1%。養育費に関する相談は月に1件程度なので、市が主体の弁護士による法律相談の提供の予定はないが、養育費確保は母子世帯等の経済的安定に寄与する為、法律的支援が必要な場合には適切な相談先へと確実につながるよう情報提供。

問 費用・時間・労力がかかる司法による養育費確

保の現状が母子世帯の貧困を招いていることを考慮すると、市は養育費確保を司法案件ではなく福祉施策と捉え、民間の保証会社と連携し養育費の受け取りを保証する支援制度の整備が、経済的支援策として将来的な財政負担の軽減にも資すると考えるがいかがか。

部長 養育費支払いの着実な履行が期待できる一方で、民事に公的な補助を行うものであり、支払い能力に欠ける場合は実効性が無い等課題もある為、今後国や他の自治体の動向等を注視。

市長 夫婦が離婚しないでひとり親にならないことが行政負担がかからないということ。わがままで思いやりと我慢が足りないの、離婚してしまう。人間としての覚悟が足りない。離婚したひとり親は、それを社会や行政が面倒見るのは当たり前だと思っただらとんでもない間違い。親のわがままによる犠牲者である子どもを支援するためにも、そういうことのない社会を作ることが大事。

問 任期付職員としての弁護士の採用は。

部長 採用は無い。職員の法務能力向上で対応。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

高齢者介護人材について

問 福祉は全産業の基盤にあると考え、2025年までに必要な介護人材の必要数と、それに対する市の取り組みについて。

部長 全国の介護人材の配置率に本市のサービス受給者に乗じた約4000人と推計されている。

問 介護人材確保に対して、市の福祉人材マッチング事業を提案させていただくがどうか。

部長 市だけでのマッチングより、広域を考えていくメリットもある。富士宮市介護保険事業者連絡協議会は、(仮称)人材不足対策委員会を設置した。市としても、将来的な介護人材確保は重大な課題であると考えていることから、同委員会に担当職員が参加して、事業者とともに検討していく。

交通弱者支援について

問 公共交通では補い切れない、生活の支援とい

う幅広い意味での、新しい移動手段が求められていると考える。福祉的な視点でご答弁をお願いする。

部長 地域の助け合いで、地域の課題に取り組んでいる。当市においても袖野、稲子地区での活動を承知している。

スポーツで輝く富士宮のまちづくりについて

問 第5次総合計画に挙げている、国際大会、全国大会の誘致について。当市人気スポーツでもある野球、そしてサッカーの誘致。その開催場所、可能性について。

部長 今後誘致しようと動いているのは、ソフトボール大会。過去にも国際大会を開催。またそういうものが持ってこれないかというところでやっているが、なかなか難しいところがある。それでも、もっと小さい規模の国際大会を誘致できないか検討している。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(令和)

救急医療の現状の問題点(救急車はすぐ来るが、搬送先の病院が決まるまでの時間がかかる)について

問 救急車が現場到着から、出発まで30分以上かかっている件数、病院への問い合わせが6回以上の件数の推移はどうなっているか。

部長 30分以上は、H28年478件、H29年601件、H30年641件。6回以上は、H28年73件、H29年80件、H30年83件である。

問 時間短縮のために、富士医療圏において、救命救急医療体制を充実するため、富士市との協議を行うべきと考えるがいかがか。

部長 救急医療について、7月に開催される富士地域医療構想調整会議で議論される予定である。また、富士市立中央病院の建替えに向けて富士市と情報交換等に努めていきたい。

問 富士市とはどういう話になるのか。

病院長 救急に関しては、富士市と、例えば輪番制とかを検討していきたい。

副市長 病院建て替えについては、事務サイドでお互いの現状について情報交換することからはじめていきたい。



▲市民の命を守る救急医療の確立は最重要課題である。

地域循環共生圏について

問 富士宮市は、環境省の地域循環共生圏(35件)に採択された。今後の動きをお聞きする。

部長 市民・企業・金融機関・行政による団体が組織され、水を守り、再生可能エネルギーを創出する事業を検討する。その後10団体ほど、具体的な事業化に向けた支援がなされる。

要望 富士宮市にとって、環境と経済がリンクする事業は、とても意味あることだ。積極的に進めていただきたい。



さの としお
佐野 寿夫 議員
(公明会)

当市の児童虐待とひきこもり中高年者8050問題の現状と支援体制について

部長 市の家庭児童相談室に、児童虐待かもしれないと通報や相談のあった件数は、平成30年度は87件で約30数件増加している。

問 家庭児童相談室の対応状況と連携体制は。

部長 虐待の通報を受けた後、原則として48時間以内に直接子どもの様子を確認することを遵守している。また、富士宮市要保護児童対策地域協議会で検討し、その児童や家庭に合った支援につながるよう取り組んでいる。

問 ひきこもり児童から8050問題である中高年者のひきこもりの現状と相談窓口体制は。

部長 不登校に関する小・中学生の相談件数は1475件、義務教育修了から39歳までのニート、ひきこもりの相談件数は43件である。孤立させ

ないための制度を周知する。

食品ロス削減推進法の成立を受けて、当市として食品ロスを生まない機運をさらに高めていくことについて

部長 「ふじのみや3010運動宴会の心得」を環境衛生自治推進協会の協力のもと、特に宴会シーズンには重点取り組みとして啓発する。

問 市民運動として推進することについて。

部長 ごみダイエットプロジェクトの中で、市民、事業者、行政が一丸となり、市民運動として食品ロス削減の取り組みを展開している。毎月第3日曜日の食卓の日に合わせて冷蔵庫クリーンアップデーを設けることを市民に周知する。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

選挙と投票率向上を考える

問 平成最後の選挙では、投票率向上に新しい取り組みは行われたか。

選挙管理委員会事務局長 これまでと同じ方法で、街頭啓発に大型商業施設を1カ所増やし、計4施設で行った。

問 投票が増えそうな場所に、期日前投票所を増やせないか。

局長 場所や経費の問題、立会人など従事者の配置を考えると、現状の市役所、上井出張所、芝川会館の3カ所を継続していきたい。

問 高齢者が増え、投票し易くするために、移動投票所や移動投票車など考えられないか。

局長 期日前投票所の増設と同様に、様々な問題があり、実施は困難である。

要望 私たち立候補者も、もっと努力をしなければ

ならないが、選挙は莫大な予算がかかっており投票率向上を考えなければならない。1人でも多くの投票者を増やすため、できない理由ではなく、どうしたらできるかを考えてほしい。

人口減少と北部地区、芝川地区の未来

問 今、どの位の自治会が消滅の危機にあるか。

部長 市内には127の自治会があり、5年前と比較すると、人口が増えている区が27区、減少している区が98区、増減なしが1区という状況で、約8割の自治会で人口が減少している。市では、よりよい自治会運営を役員と共に考えていくように対応している。

固定資産と、土地の管理者の行方を考える

問 共有名義の土地の課税対象者、納税通知書の発送先の決定方法について伺う。

部長 地方税法の定めにより、共有名義の土地については、共有代表者に納税通知書を発送している。代表者の決定は、市内に居住している方、持ち分の多い方、当初から所有している方を優先する事としている。



こまつ かいぞう
小松 快造 議員
(富岳会)

北部地域の現状について

問 車社会の今、宮タクなどの行政サービスはあるが、利用しにくいなどの理由から利用率が低い。何か対策はあるのか。

部長 利用率が低い原因は、事業の周知が行き届いていないことが考えられる。

今年度から新たに市民満足度調査のための市民アンケートへ宮タクのチラシを同封し、区長会総会においても宮タク利用の案内をお願いし、制度の周知に務める。

問 北部地域の小売店廃業に伴い高齢者の食品調達に困難であるが、何か対策を立てられないか。

部長 出張商店街でも地域ニーズを把握し、移動スーパーやコンビニなど、民間事業者との連携による「買い物支援」について地域福祉の観点から研究を進めていく。



こんどう ちづる
近藤 千鶴 議員
(令和)

市立病院の医師確保について

問 必要な医師数は。

病院長 70人。現在は65人が在籍。

問 市長の大学病院への訪問数を増やせないか。

市長 大学と良好な関係を築いてきた。医局だけでなく、他の催しでも会いお願いしている。

問 医師確保に大きな影響を与えるホームページの現状は。

部長 閲覧回数8万2206回。作成費450万円。年間保守費用75万円。

病院長 リニューアルを行い、市民の声を載せたり、診療科の啓発もしていく。

問 市民として議員としてできることは。

部長 市民としては医師が働きやすい環境の構築。議員としては富士宮に来ていただけそうな医師の情報提供。

問 北山本門寺南側のグラウンドにあるトイレの改修はできないか。

市長 公園がない地域なので、多目的に不特定多数が利用するのであれば、市として整備することも検討する。

地域循環共生圏について

問 環境省の地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた、地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体の公募事業にエントリーされたが結果はどの様になったのか。

部長 県内では、富士宮市、浜松市、伊豆半島ジオパーク推進協議会、裾野市深良地区の4地区が採択された。今、富士宮市SDGsは富士山SDGsと呼ぶ。富士山の自然、教育、そして人の生活も持続可能な社会の象徴的なものがまさに富士山です。富士山SDGsを推進して行きたい。この地域循環共生圏については、SDGsの取り組みの中核的、象徴的な取り組みだと思っている。

湧水や濁りが深刻な富士川について

問 富士川における既得水利権をどう考えるか。

部長 河川管理者の国土交通省の管理のもとに適正に利用されている。

問 湧水でアユも遡上してこない富士川のことを下流域の協議会で話し合う機会を設けてほしい。

部長 富士川下流市連絡協議会でしっかり富士宮市として意見を述べていく。

問 山梨の早川水系での汚泥問題を市としてどう考えるか。

部長 富士川の水質に相当な影響を及ぼし、重大な問題と認識

問 市としてできることは。

部長 県や国土交通省と情報を共有し原因の究明や対策の働き掛けをする。水質の継続調査を実施し、パトロール事業において監視する。

市長 県にしっかり言っていかなければいけない。稲子川、稲瀬川、堺川にもアユが戻ってくるように力を合わせていきたい。



えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(蒼天)

市立病院の経営実態と、全国公立病院の赤字経営の現況に対する考えと今後の対策について

問 最近5年間の病院事業会計医業収支を伺う。

部長 平成26～29年度の医業収支は毎年マイナスであり、この要因としては、整形外科、泌尿器科の診療体制の縮小による影響と診療報酬のマイナス改定が考えられる。

問 医業収益に対する人件費の割合と最近の動向をどのように捉え、今後対処するのか。

部長 人件費は毎年増加、平成29年度は60.3%、この要因は、令和元年10月に再開する整形外科病棟に配置する看護師等を、前倒しで採用したことによる人件費増大があげられる。

問 保育所運営の実態と費用対効果を伺う。

部長 平成30年度の延べ利用児童は125人、保育士他7人の職員で対応。経費は約2000万円、

保育料は270万円、1730万円がマイナスである。医師を含めた医療職員の確保のためにも必要経費と考える。

問 市立病院規模380床に必要な人員体制は整ったのか。

病院長 8病棟体制に必要な人員は確保できたが、退職等により看護師不足の状況は続く。

問 病院経営改善計画 Vol.Ⅱの経緯経過を伺う。

病院長 計画の中で最重要課題である医師確保対策は整形外科常勤医師4人体制を確保。そのほか経費節減や経営戦略会議を立ち上げ収益改善、経費削減の協議を行い、他院の加算取得状況を比較し、加算の早期取得に取り組む。

市内茶園経営の現状と将来の展望について

問 市内本年の生産高と金額及び杉田地区の産業振興地区へのその後の取り組みを伺う。

部長 1番茶の生産量は11万5000kg、生産額は9170万円であり、前年比82.5%。

市長 規制が厳しい地区であるが、市長会を通して規制緩和に向けて運動していく。



もちつき のり お
望月 則男 議員
(富岳会)

新たな学習機会に対しての市独自の政策の今後について

問 学びに対する補助は実施しているのか。

教育長 英検などの検定料に関する金銭的な部分での補助はしていない。学習に係る金銭的な支援は、保護者の負担を軽減する方策の一つと考えられる。今後の動向を見て考えていきたい。

問 新たな教科に対して、「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」となるために独自のカリキュラムは検討されているのか。

教育長 今年度プログラミング教育研究委員会を立ち上げ、英語教育では平成28年度からいくつかの委員会を立ち上げ英語教育推進を目指して計画的に取り組んでいる。

問 市長にとって富士宮市の目指す国際文化都市のイメージを伺う。

市長 富士山を中心に考えたグローバルに対応したまちづくりを意識していきたいという意味で国際という言葉を使っている。

子どもふれあい広場について

問 先日開設した子どもふれあい広場の利用状況について。

部長 芝川子どもふれあい広場は開館して13日間で158人と、予想を上回る利用状況で読み聞かせ会などを定期的で開催し利用者増加を図る。

問 芝川公民館の子どもふれあい広場は最適な場所かどうか。

部長 幅広く利用できる空間として、家庭教育に関する学習機会及び学習情報の提供という役割にも合致し、芝川地区の中心であり、学校に近接している立地であることから、適地であると考え整備した。

問 芝川地区では一部今までのように使用したいという意見があるがいかがか。

市長 児童館の閉鎖に伴い子ども達の居場所作りには是非、大人の方は一步譲り公民館内の別室を使うなどの協力をしていただきたい。



さの
佐野 あつし
孜 議員
(富岳会)

富士宮市の原点を生み出す資源について

問 ①朝霧高原の牧歌的風景の維持と牧場の継承を取り上げたドキュメンタリー番組が放送されたが、畜産の振興に対する支援などについて。②朝霧地区の畜産ふん尿等の課題解決について。

部長 ①畜産振興推進協議会を設立し畜舎消毒事業や予防注射事業などを実施。また、畜産競争力強化対策整備事業も推進している。②農林漁業の健全な発展調和のとれた再生可能なエネルギーの促進に関する法律によりバイオマス発電プラントの基本計画を認定し、朝霧地区の家畜糞尿等の課題解決に取り組む。

世界遺産の構成資産の整備計画について

問 ①白糸の滝売店集約計画、周辺整備計画。②関連して天子ヶ岳麓の土地所有者の折衝状況。

部長 ①8店舗が対象で第1期は5店舗が来年4

月に開業予定。第2期は令和3年3月までに移転の意思決定をしていただきたく話し合い中。白糸の滝西側の整備は土地所有者との話し合いは継続中。②天子ヶ岳麓の佐折地区の開発は、都市計画法の改正により市街化調整区域内の大規模開発は禁止されている。宗教法人からの相談は特に受けていない。

学校教育環境の整備に対する取り組み

問 ①各教室への空調設備整備計画について。②富士宮教育委員会で推進する「富士山学習」今後の推進計画について。

部長 ①富士宮第一中学校等17校については来年3月13日までには完成予定。上井出小学校等17校についても年度内には完成予定で、全校に空調設備が完成する。

教育長 ②これまでの方向性を維持しつつ、創造的発展的に推進する。また、市民文化会館にて、来年の2月1日にステージ発表、2日と3日には、展示発表を実施予定。児童生徒の生き方決定の機会にしたい。



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

福島原発事故後8年経過したが、原発に対する見解と安定ヨウ素剤備蓄を全市民対象に

問 避難生活をしている人は約4万人、ふるさとに戻れない人は約11万人と言われている。原発に対する市長の見解と安定ヨウ素剤の備蓄内容と全市民対象とすることを要望。

市長 私は原発に反対。事故が発生した場合、取り返しのつかない被害が発生することを恐れている。この地球をきれいで人類が暮らしやすい地球として持続していく使命がある。

部長 安定ヨウ素剤は、本庁と5カ所の出張所に丸剤9万丸とゼリー剤4000包を備蓄。マニュアルは策定済み。備蓄をした中で余力がある以上、希望される方には配っていききたい。

浜岡原子力発電所で事故が発生した場合の避難対策には大いなる矛盾がある

問 当市は吉田町の約1万人を受け入れるが、当市の避難計画は考えていくのか。

部長 吉田町から7月に訪問したいと連絡があり、今後、具体的な話し合いが進むと考えている。吉田町民が避難すると同時に富士宮市民は屋内退避で対応していく。

要望 吉田町から何台の乗用車、バスが来るのか。置き場はどうするのか、屋内退避しても放射能は消えない、いつまで屋内退避ができるのかなど大いなる矛盾がある。やはり原発をなくすしかない。

幼児教育・保育の無償化で新たな負担増とならないように

問 無償化に伴い副食費、行事費などは実費負担となる。新たに負担増となる家庭はないのか。

部長 現在、保育料が無料の世帯は副食費が免除される。免除の範囲が年収360万円未満の世帯まで拡大される。保育所との公平性の観点から、幼稚園でも年収360万円未満の世帯の子や第3子以降の子まで無償化される。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
(政経会)

防犯灯と道路照明灯等の維持管理について

問 防犯灯は、安全安心のまちづくりを推進する上で大変重要な役割を担っている。まちを明るくすることで犯罪防止に大きくつながっていくのも事実だと思うが現状を伺う。

部長 自治会から市に対して早期の全灯LED化について強い要望が寄せられていることから、当初の計画期間を2年間前倒して、令和4年度で完了できるように計画を変更した。

ひきこもり対策について

問 ひきこもりは長期化するほど解決が難しくなり、病気や介護、経済的困窮などの問題が複合的に絡み、事件がおきているが現状を伺う。

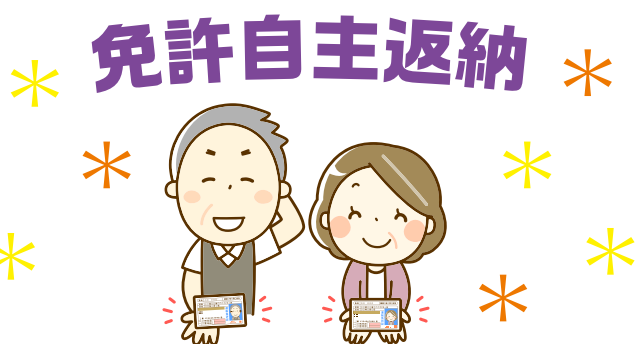
部長 ひきこもりを含めた支援事業として、相談支援員が自立に向けた支援プランを作成し、就労訓練、就労活動などを通じたひきこもり状態から

の脱却、社会参加、さらには経済的自立などを支援している。

高齢ドライバー対策について

問 自主返納した方が証明書を持っていけば、他市にないようなサービスを受けられるということであれば、もっと自主返納する人が増えると思う。そして、市内の商店街の活性化にもつながると思うが、市長の考えを伺う。

市長 総合的にいろいろ考えて前向きに、自主返納したり、あるいは事故が起きないようにする対策を来年度予算に向けて考えていきたい。前向きに行くことは間違いない。



の も と たかゆき
野本 貴之 議員
(芙蓉)

子どもたちの学校教育環境の整備を！

問 小・中学校のにおいがきついトイレや男女の入口が同じトイレの整備や改善を求める。

部長 小学校14校16件、中学校8校10件の要望がある。においの改善の提案は、特に状態の悪いところは清掃業者に委託など検討していく。

市長 御指摘の箇所はかなり大がかりの工事になるが、前倒しでできるだけ早く、できるだけスピードアップして進めたい。

問 学校以外の学習機会の有無は子どもたちの学

習意欲向上につながる。教育委員会として学習支援に取り組むべきと考えるが、どうか。

部長 小学校3校、中学校1校で地域学校協働本部の活動を行い、地域の皆様が学習支援を実施している。拡充と体制整備に努めていく。

教育長 ICTを活用して子どものつまずきを支援するなど、総合的に考えていきたい。

市内在住・観光外国人に適切な医療支援を

問 外国人の方に対応可能な医療機関や受け入れ可能な医療機関との連携を伺う。

部長 外国語対応可能な医療機関の一覧を作成して配布。医師会加入77の診療所中、50カ所の診療所で英語対応が可能である。

問 市立病院の医療通訳や事務説明の対応、また、緊急に必要な同意など対応はどうか。

部長 総合受付窓口が多言語対応可能なタブレットを設置、電話による医療通訳サービスの利用ができる。これまで緊急なケースはなかったが、今後様々な外国人の方が受診されることは十分想定されるので院内で検討していきたい。





わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

奨学金返還支援助成金制度の充実と働き方改善の取り組みについて

問 市の奨学金返還支援助成金制度の対象者拡大、助成期間の延長、予算の拡大などについて、どう考えるか。

部長 非正規労働者までの拡大は考えていない。国や県の動向を注視しながら、助成期間の延長や同制度のあるべき姿について研究していきたい。

問 市内企業で働く正規・非正規労働者の人数と割合はどうなっているか。

部長 県内全体の割合から、市内の雇用者5万2000人のうち、正規が3万2000人、非正規が2万人と推測される。市内大手8社では、正規が4200人(58%)、非正規が3000人(42%)となっている。

問 最低賃金を一律1000円に引き上げるための中小企業支援を国に求めることについて、どう考えるか。

部長 企業が賃上げしやすい環境を整備する方策が議論されることが予想されるので、市として状況の把握に努める。

奨学金返還支援助成制度の充実を！



道路にはみ出す樹木(支障木)の問題について

問 ここ数年、支障木の実態は改善されているのか。

部長 問題は複雑化、悪化している。

市長 「広報ふじのみや」を使って、通行の妨げになる樹木の除去を土地の所有者に呼びかけていきたい。



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

富士宮市の普通救命講習と消防団の課題について伺う

問 平成19年6月2日と平成29年3月12日の道路交通法改正に伴い、消防団の準中型免許の取得に関して静岡県等の動向はどうか。また、県内各市町において10の自治体が準中型免許の取得に対する補助を行うようであるが富士宮市の対応はいかがか。

部長 平成19年6月の法改正後、中型免許を取得しなければ運転できない車両は4台の水槽付き消防車両であり、車両を配備してある分団ではおおむね90%以上の団員が運転可能な免許を保有している。しかし、将来平成19年度以降に免許を取得した団員が増えてくることから車両の機能、性能は向上を図りつつ、車両全体が小型化となるようポンプ車^{ポンプ車}艦装^{艦装}メーカーと検討し、平成

31年2月に第19分団に従来のものより全長を1メートル、車幅を30センチメートル縮小し、1トンの水を積載した水槽付きポンプ車両を配備した。また、平成29年3月の同法改正により準中型自動車免許が新設され、富士宮市の消防団車両34台がこの免許区分に該当する。この準中型免許の取得に関する静岡県等の動向は、静岡県消防協会では当該免許の取得費用に対する助成制度の開始を今年度中をめどに検討しているとのこと。富士宮市は今後の近隣市町や県等の動向を注視していく。

問 準中型免許でも運転可能な車両にするなどの工夫で第6方面隊にも水槽付きポンプ車両を導入することは可能か。

部長 昨年度整備した水槽付き消防車両は現行のものより小型化しているので、第6方面隊においても車両更新時に検討していきたい。

今後の定例会の開催日

傍聴できます！

9月定例会

9月13日(金)～10月11日(金)を予定

11月定例会

11月26日(火)～12月13日(金)を予定

定例会以外に、議会運営、総務文教、環境厚生、産業都市、議会だより編集の各委員会及び全員協議会が随時開催されております。

- ◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。



市議会議員 20年表彰 若林志津子 議員

議員在職20年を迎えました、若林志津子議員に、全国市議会議長会及び東海市議会議長会より表彰状が贈呈されました。

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

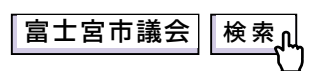
アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に
 郵便→〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
 富士宮市役所 市議会事務局あて
 メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』でみよう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。右下にあるQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。



編集後記

初めて議会だより編集委員をさせていただきます。「政治を身近に！」という視点において、議会だよりが果たす役割は大きいと感じております。

各々の議員の思いを、議会だよりにギュウギュウに詰め込んでお届けします。

「大きな字で読みやすく、誰にでも理解できる文面」を心掛け、市民の皆様の笑顔のために議員の思いがこもった一般質問や議会活動を心を込めてお届けしたいと思っています。よろしく願いいたします。

議会だより編集委員 近藤 千鶴

新人議員で議会だより編集委員を引き受け、毎日を四苦八苦しています。

諸先輩達が築き上げてきました「議会だより」を市民の皆様に議会の内容をお伝えし、楽しく愛読できる様に工夫していきたいと思ひます。

議会の役割や行政との連携を詳しくお伝えし、皆様に選出された私たちに、いつでもどこでも話し掛けて戴き、この書面を利用し分かり易く、見やすい議会だよりを作り上げていく所存でございます。

議会だより編集委員 細沢 覚